

2019年3月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社 **キョウデン**
証券コード6881

2018年12月12日

目次

- 2019年3月期 第2四半期 概要
- 電子事業 次世代基板への取り組み

2019年3月期 第二四半期 決算概要（連結）

【金額単位：百万円】

- 売上高：国内基板工場の受注堅調 及び 工業材料の都市基盤等で好調
- 営業利益：主に国内基板工場の増収ならびに生産性効率化による増益効果継続
- 経常利益：外貨建て債権の評価替え等で99百万円の為替差益が発生

	2018年3月期 1-2Q	2019年3月期 1-2Q	増減額	増減率
売上高	27,300	27,739	+438	+1.6%
営業利益	1,228	1,860	+631	+51.4%
EBITDA (償却前営業損益)	2,111	2,790	+678	+32.1%
経常利益	1,319	1,934	+615	+46.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	911	1,454	+543	+59.7%

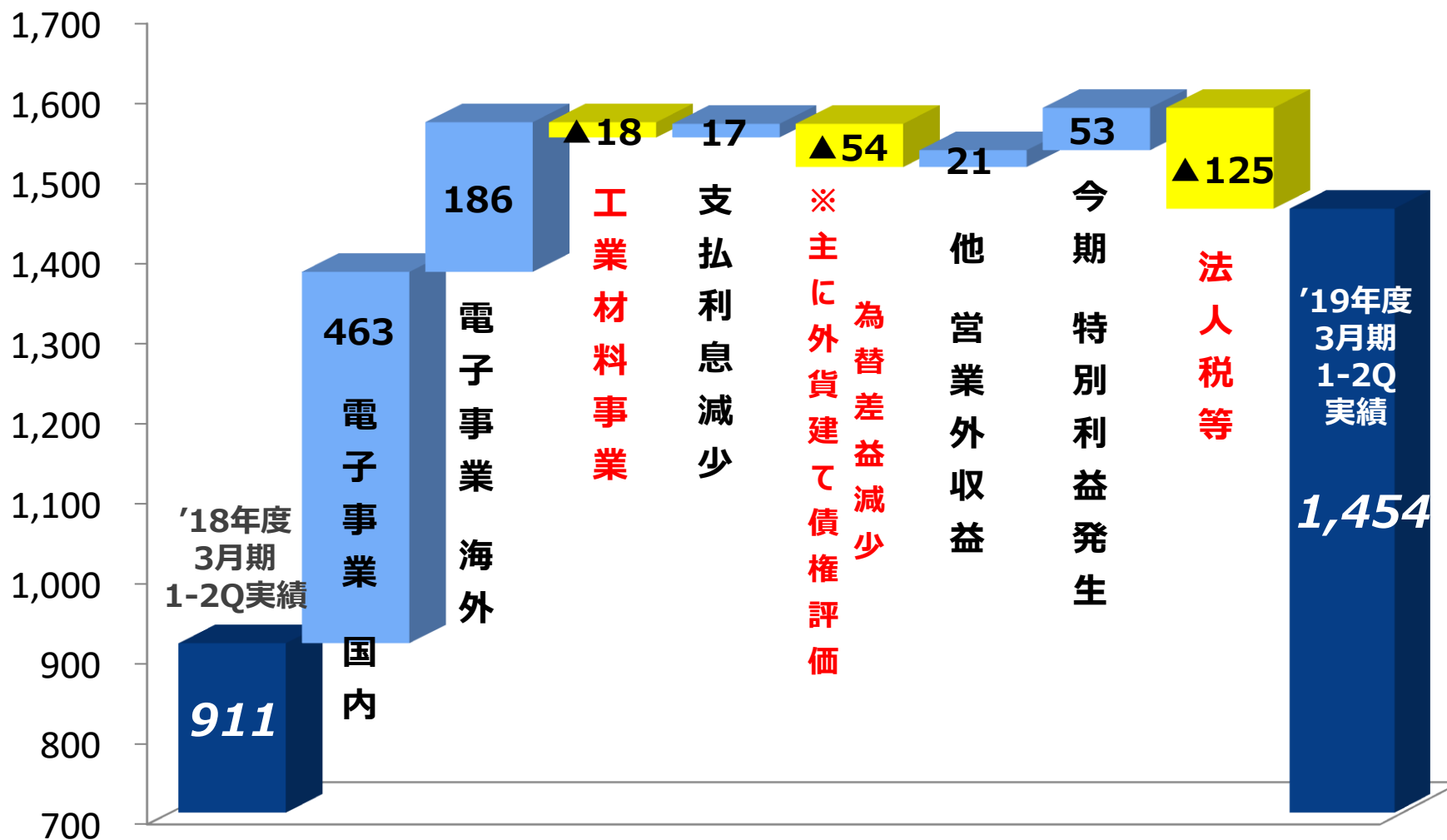
セグメント別 売上高・営業利益

【金額単位：百万円】

【売上高】	2018年3月期 1-2Q	2019年3月期 1-2Q	増減額	増減率
電子事業	21,571	21,679	+107	+0.5%
工業材料事業	5,729	6,060	+331	+5.8%
合 計	27,300	27,739	+438	+1.6%
【営業利益】	2018年3月期 1-2Q	2019年3月期 1-2Q	増減額	増減率
電子事業	653	1,303	+649	+99.3%
工業材料事業	574	556	▲18	▲3.2%
合 計	1,228	1,860	+631	+51.4%

連結当期純利益 前期比増減要因

【金額単位：百万円】



アイデア

カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

KYODEN
GROUP



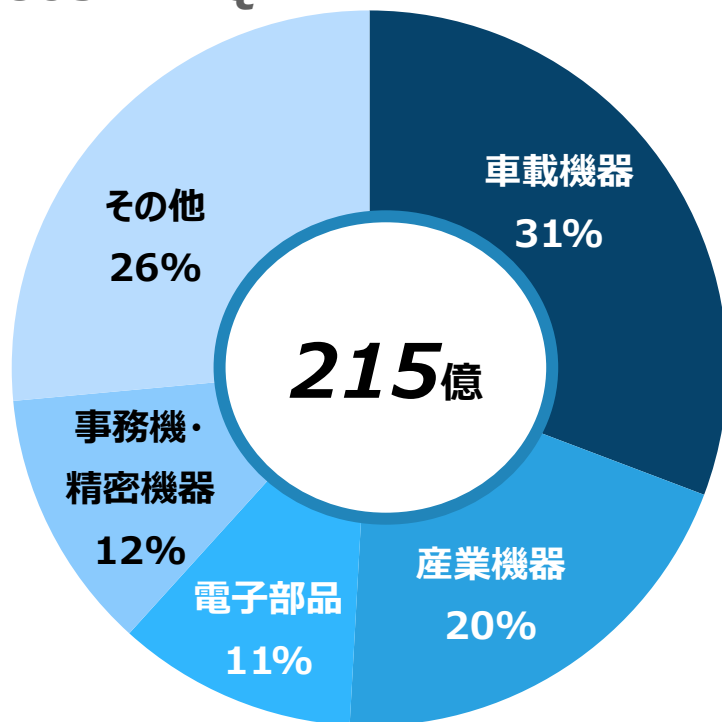
電子事業概要

2019年3月期 第2四半期

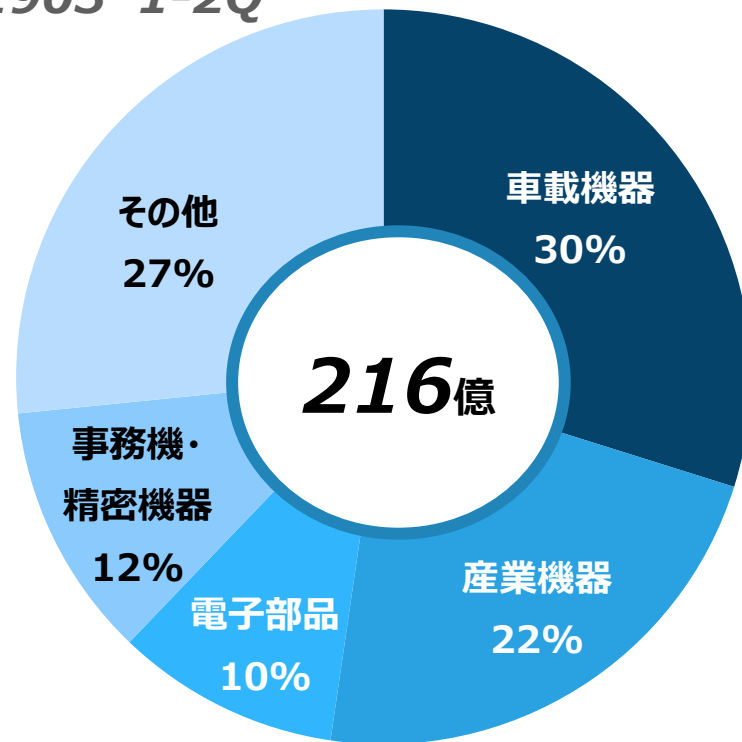
電子事業アプリケーション別売上構成

電子事業全体では産業機器及びインフラ(セキュリティー)関連が前年比増
 アミューズメント関連及び電子部品(IC・センサー)が前年比減

■ 201803 1-2Q



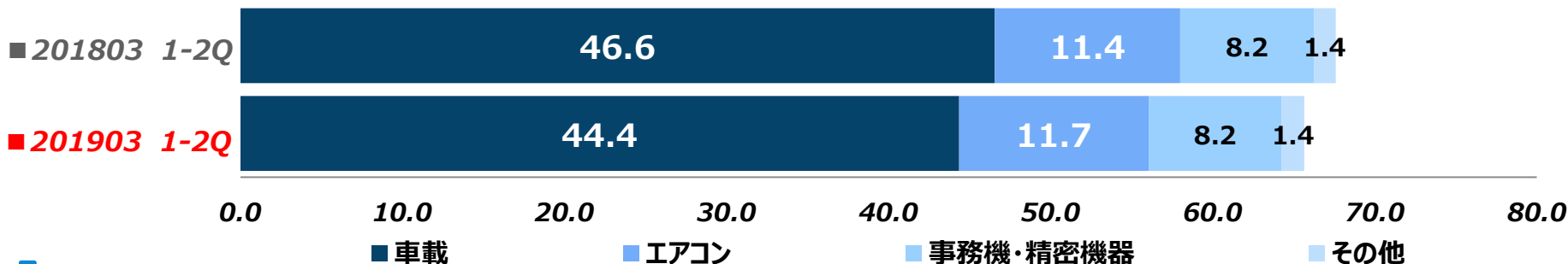
■ 201903 1-2Q



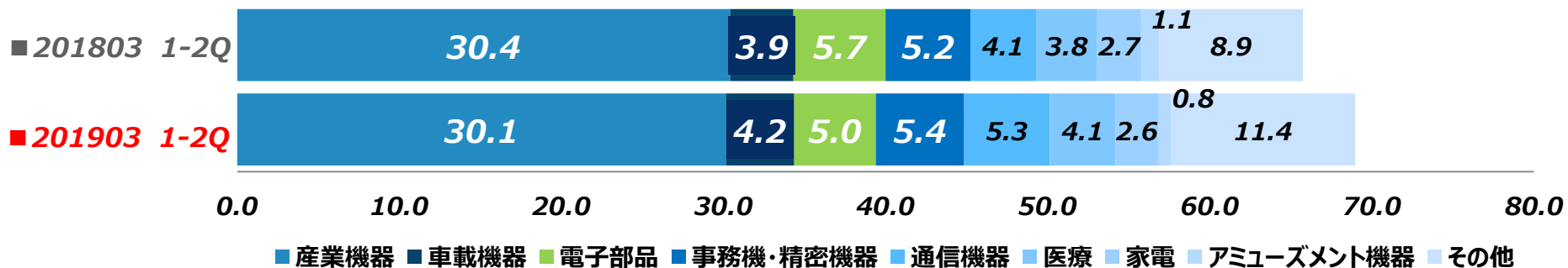
電子事業アプリケーション別売上構成 ②

海外：KDT

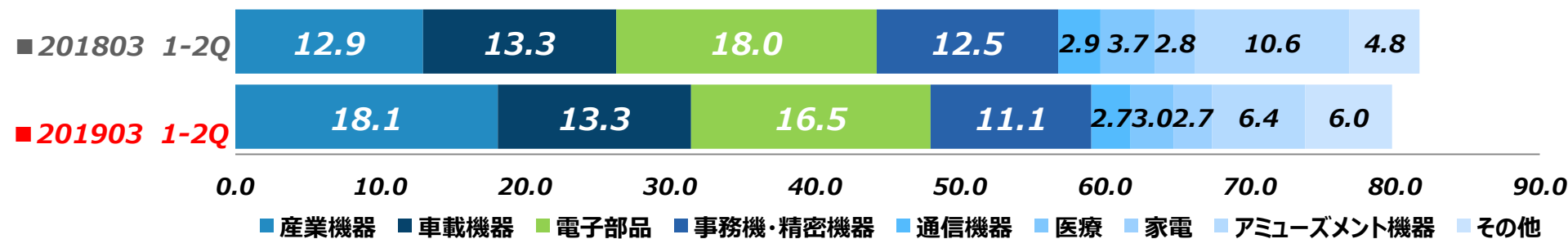
【金額単位：億円】



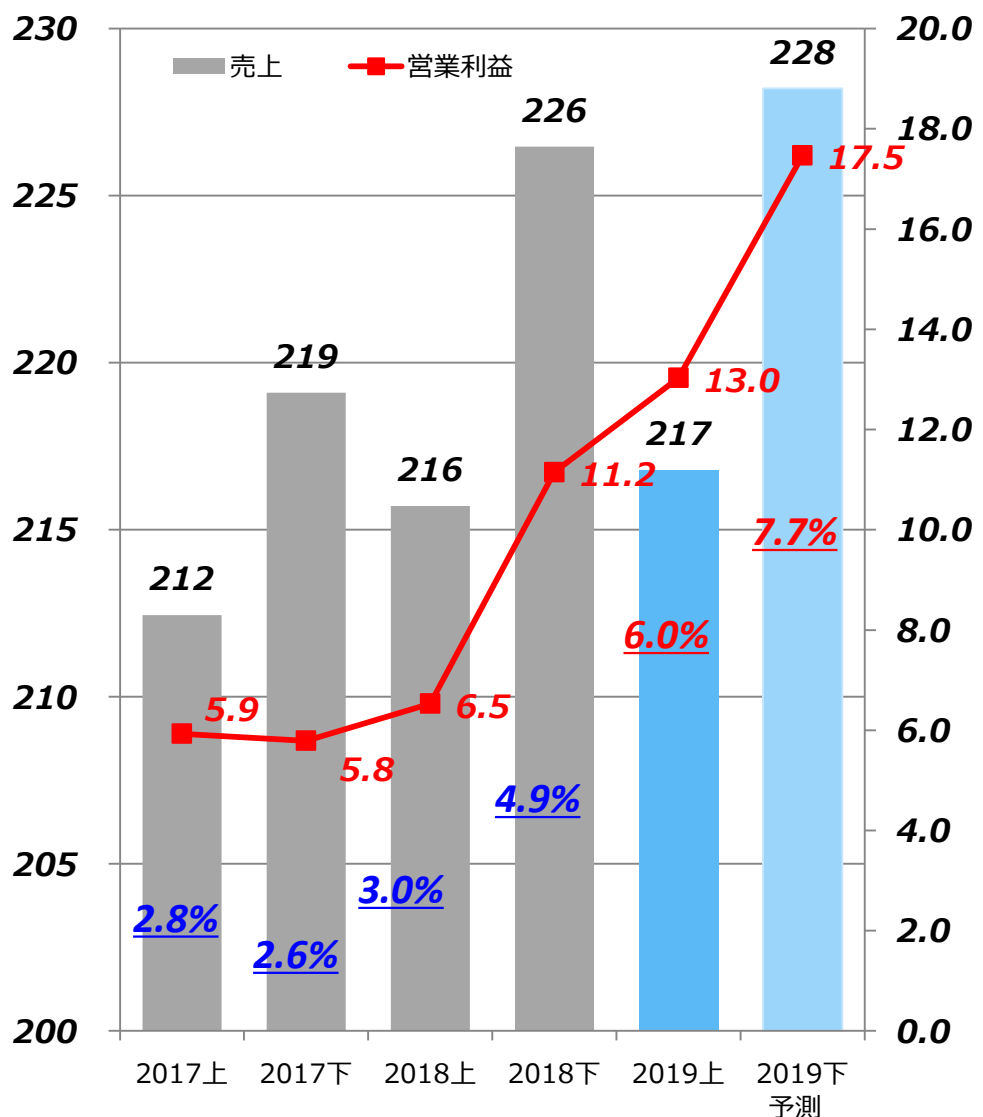
国内：試作セグメント



国内：量産セグメント



電子事業 売上高／営業利益推移



【金額単位：億円】

201903 1-2Q 主な取り組み

- 昨年度に引き続き、内製化による原価低減及び自動化設備による生産性向上を図り収益性重視の事業運営を継続
 <自動化及び内製化の導入設備例>
 ・インクジェット・産業用ロボット・ファイバーレーザー
 ・NC・ルーター・レジストUコーター
- グループ全体最適による生産性の向上
 ・全ての実装ラインを静岡事業所へ移設完了(8月)
 ・各工場の特性に合わせた工場選定
- 株式会社TOSEIから洗浄機事業を静岡事業所(キョウデンプレジジョン)へ事業移管
- 「技術開発本部」の設置により新技術基板の市場開拓をスタート
- 営業所出店：札幌／富山／北関東／広島

201903 3-4Q 以降に向けた 主な取り組み

- コンデンサーキャンペーン
- EMS営業部の創設
- 長野第2工場 2020設備投資計画の検討

下期の取り組み：コンデンサーキャンペーン

積層セラミックコンデンサー(MLCC)1608の入手難に伴い1005/0603/0402への
フットプリントサイズ変更を無償対応。

【11月末日 現在】

引合い社数	357社
・成約及び内示件数	712件

※3月末まで 受付延長	
想定される累計成約件数	3,000件



「コンデンサー・ショック」
でお困りの方に朗報です。

「日本のものづくりを支援したい。」との切なる思いから、キョウデンはパッケージサイズの設計変更無償対応サービスを開始します。

パッケージサイズ 変更無償対応キャンペーン!!

- ・キャンペーン期間は2018/9/1～2018/12/31と致します。
- ・1608→1005及び0603(フットプリントダウンサイズ変更のみ)変更作業相当分を無償対応致します。
- ・設計のみ対応は受け付けません。当社にて基板作成する事を前提と致します。
- ・他社からの転注対応の場合はCADデータ支給を前提と致します。その場合、CADは図研「CR-5000 BD」及び「CR-8000 DF」のみの対応と致します。

KYODEN GROUP  株式会社キョウデン 営業本部 <http://www.kyoden.co.jp>
お問合せ E-mail:info@kyoden.co.jp

■ 記事掲載媒体

- ✓ 電子デバイス産業新聞 2018.09.13
- ✓ 日経産業新聞 2018.09.26

アイデア

カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

KYODEN
GROUP



次世代基板への取り組み

次世代基板への取り組み：高周波／高放熱／大電流

● 5G	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実機テストを低伝送損失折り曲げ基板を用いて実証開始予定 ✓ 5G基地局用基板 原理試作評価中 	1社 5社
● ADAS	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ミリ波レーダーシステム ：開発フェーズ完了。顧客評価中 ：材料メーカーと仕様別高周波材の共同開発をスタート ✓ LiDAR／カメラモジュール ：量産中 	3社 3社 5社
● ELECTORIC	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ワイヤレス給電システム：原理試作完了。実機評価中 ✓ 高速充電用基板：開発フェーズ完了。顧客評価中 ✓ 仕様別高速銅めっきを各薬品メーカーと共同開発中 	2社 2社 2社

ミリ波レーダー
5G(アンテナ／基地局)
産機／インフラ 他

複合基板
(PTFE／LCP)

高周波・
低伝送損失
基板

複合導体厚
基板

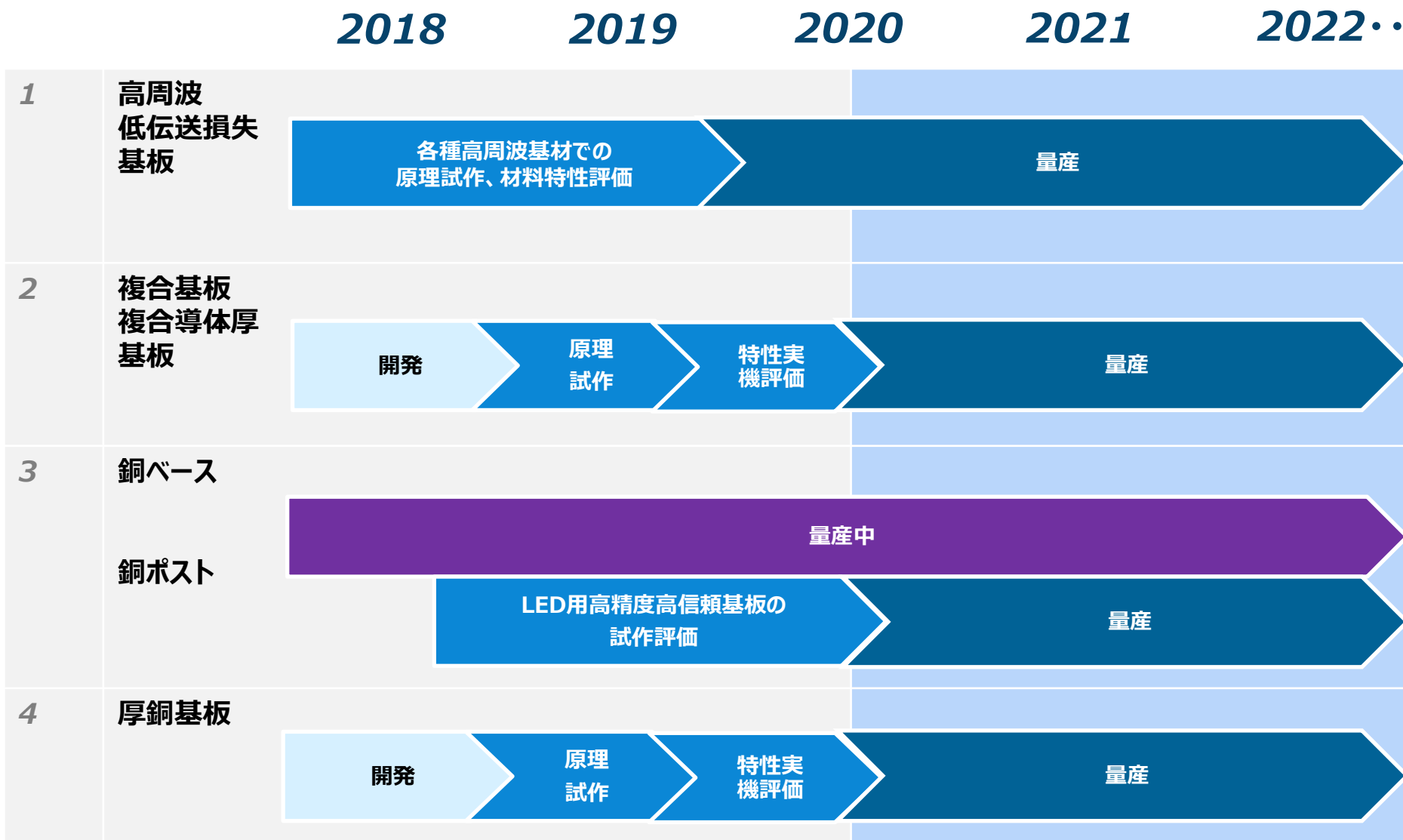
半導体レーザー
LED

銅ベース基板
銅ポスト基板

EV急速充電機器／ワイヤレス給電 向け

厚銅基板

技術ロードマップ^o



アイデア

カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

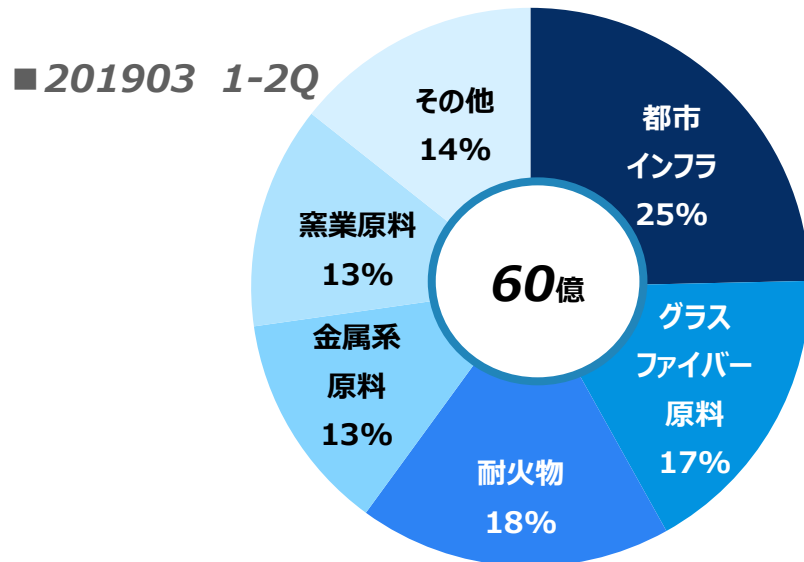
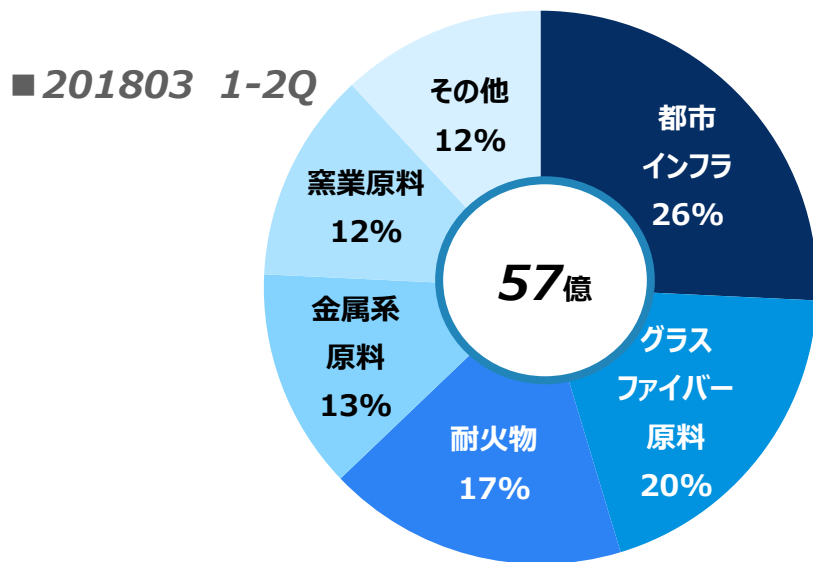
KYODEN
GROUP



工業事業概要

2019年3月期 第2四半期

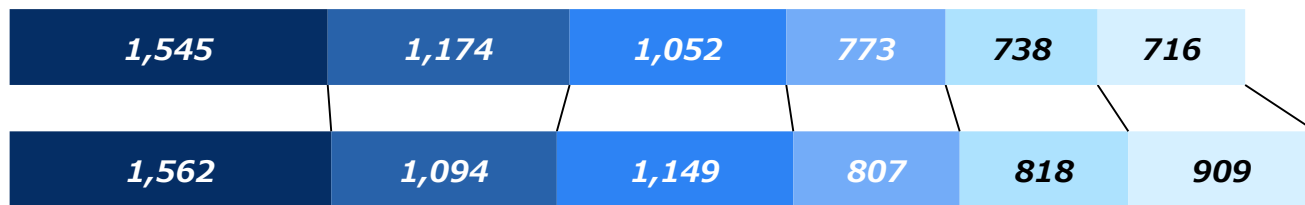
工業材料事業アプリケーション別売上構成



顧客製造設備の定期修理の実施により、グラスファイバー原料が前年比減収となるが、都市インフラ、特にモルタル・混和材は堅調を継続。また内需の堅調な耐火物製品や窯業原料・金属系原料の仕入販売も増収を維持し、工業材料事業全体で前年比+3.3億円（+5.8%）の増収

■ 都市インフラ ■ GF原料 ■ 耐火物 ■ 金属系原料 ■ 窯業原料 ■ その他

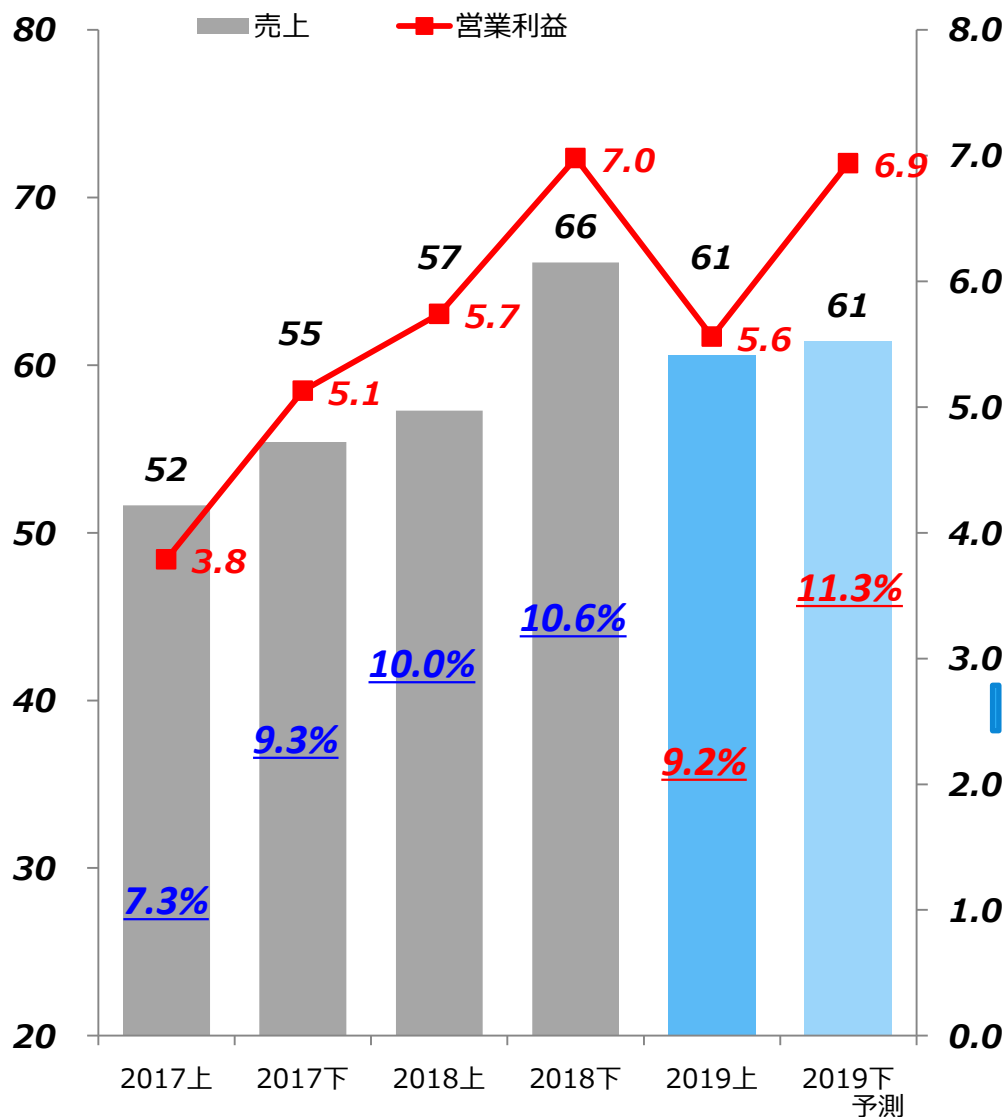
■ 201803 1-2Q



■ 201903 1-2Q

0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000 7,000

工業材料事業 売上高／営業利益推移



201903 1-2Q 主な取り組み

- 各分野とも概ね内需が堅調であることから、既存・新規とも積極的な営業活動を継続。輸入原材料や物流費上昇に対応した価格是正に注力。
- 人手不足等を睨んだ省力化・合理化投資を積極的に実施。
 - ・耐火物 500tプレス機（ロボットによる省力化）
 - ・GF原料 混合ライン更新（生産性改善）
- 鉱山閉山後の土地活用策として、養鰻事業をスタート。新会社を設立(7月)

201903 3-4Q 以降に向けた 主な取り組み

- 一部製品において、生産調整及び工事案件の遅れが見込まれるが、堅調且つ収益性の高い案件に資源を集中する
- 新規受託に伴う設備投資
 - ・金属系原料 破碎加工設備
- コスト管理強化による収益確保

アイデア

カタチ

可能性を製品に

Total Solution Provider

KYODEN
GROUP



業績予測

2019年3月期

2019年3月期 連結業績予想

【金額単位：百万円】

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	対前年比 増減額
【売上高】	56,560	56,700	140
電子事業	44,218	44,500	282
工業材料事業	12,341	12,200	▲141
【営業利益】	3,040	4,300	1,260
電子事業	1,768	3,050	1,282
工業材料事業	1,272	1,250	▲22
【経常利益】	3,179	4,200	1,021
【親会社株主に帰属 する当期純利益】	2,307	2,800	493
【EPS】	46.45	56.35	

■本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

■ご利用に関しては、ご自身の判断にてお願い致します。

本資料に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんので
ご承知おきください。

本資料に関するご照会先

株式会社 キョウデン 総合企画室

TEL : 03-5789-2273